



BML

株式会社ビー・エム・エル

2023年度第2四半期 決算説明会

2023年11月10日

代表取締役社長

近藤 健介

目次

- 2023年度第2四半期決算概要
- 中期経営計画の進捗
- 新棟建設の進捗
- DXへの取り組み
- リキッドバイオプシー検査の受託開始
- ファルコホールディングスとの資本・業務提携
- Qualis Cloud新規販売の一時停止
- 2023年度通期の見通し・株主還元



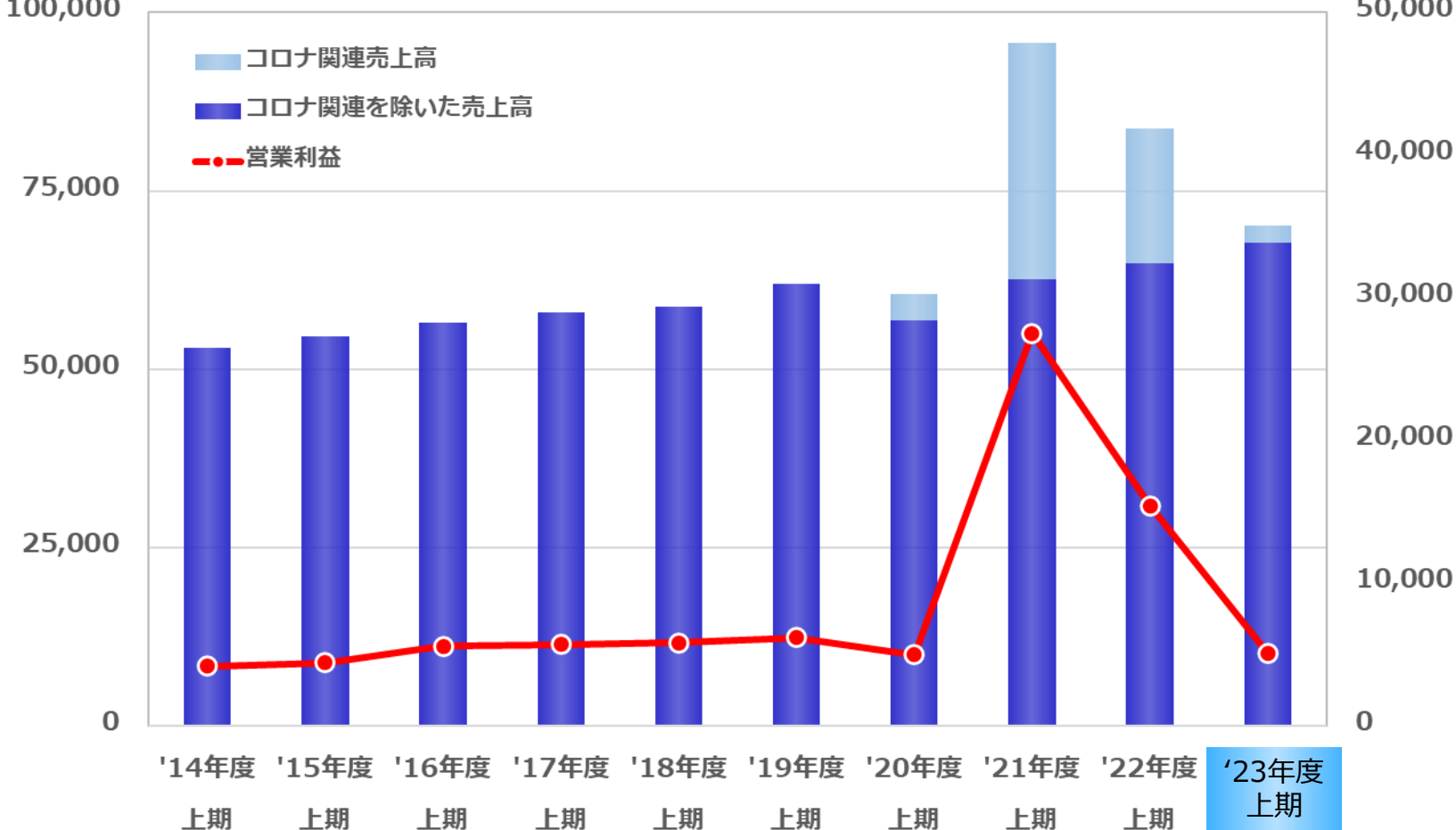
BML

2023年度第2四半期決算業績概要

【 新型コロナウイルス関連検査の減少に伴い減収・減益 】

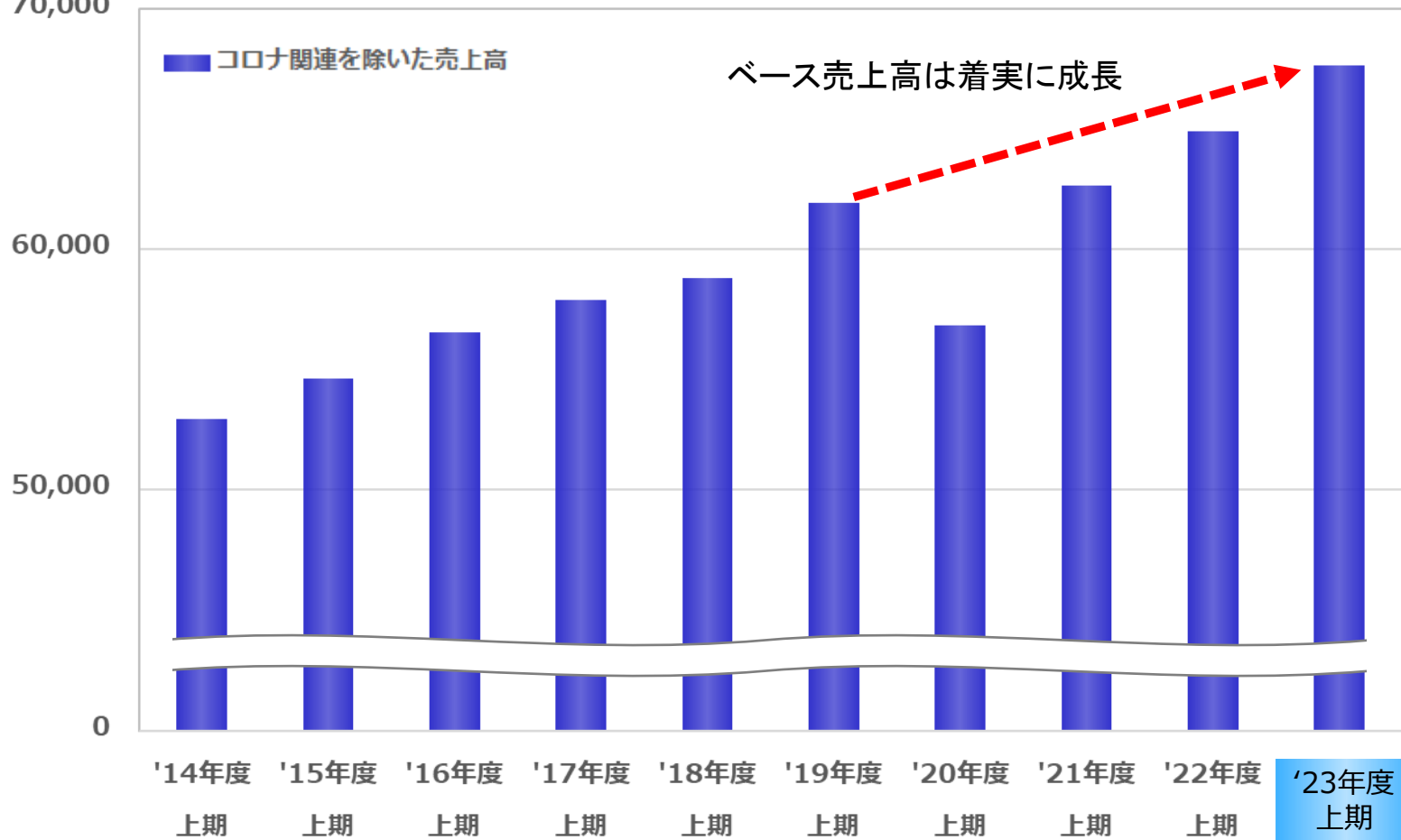
売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



【 コロナ関連検査を除いた売上高は成長 】

(百万円)
70,000

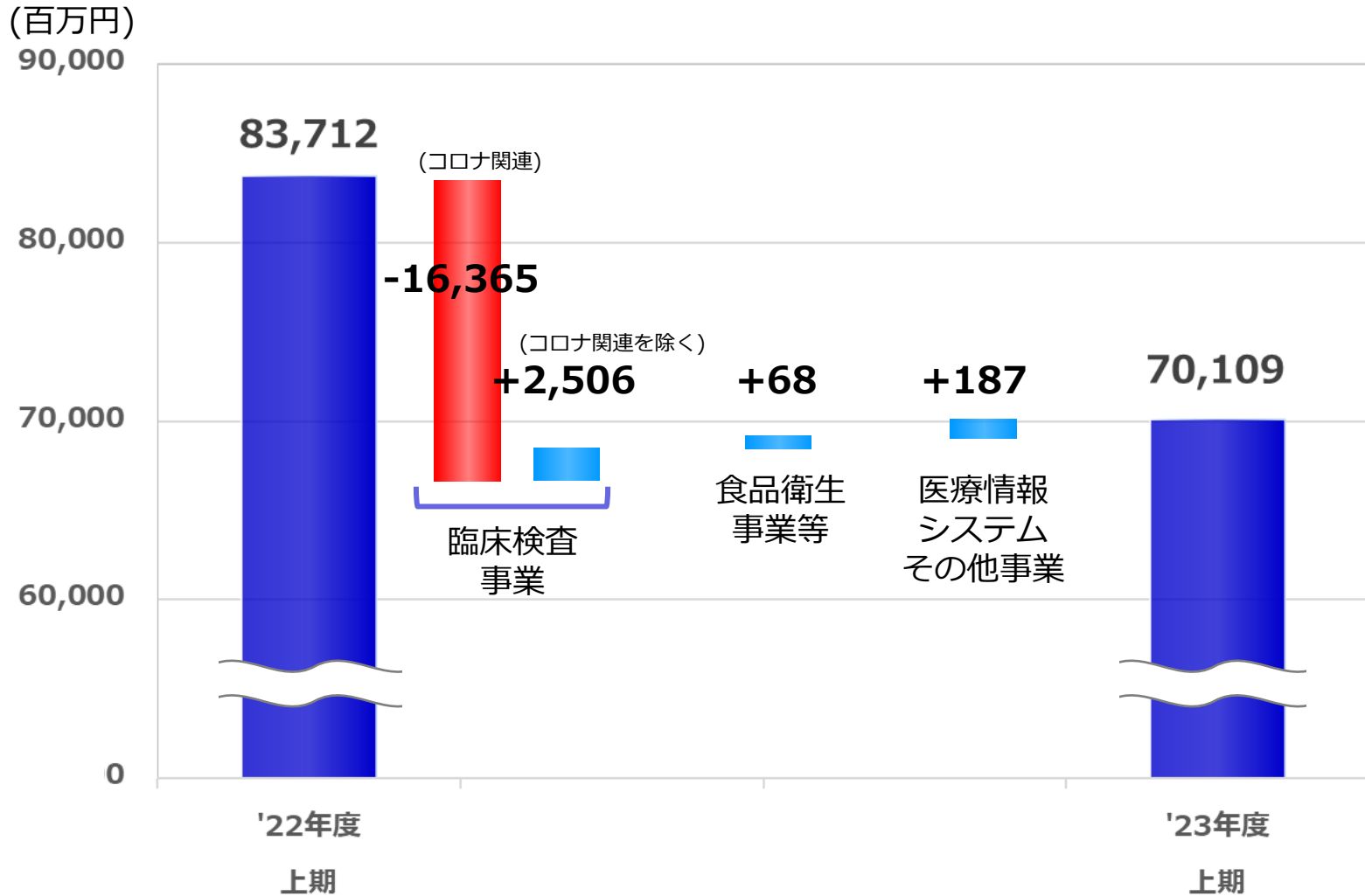


前年度業績比較表

(百万円)

	'22年度 上期	'23年度 上期	増減額	増減率
売上高	83,712	70,109	-13,602	-16.2%
検査事業	80,441	66,650	-13,790	-17.1%
臨床検査	78,251	64,391	-13,859	-17.7%
食品衛生	2,190	2,258	68	3.1%
医療情報システム	2,536	2,647	111	4.4%
その他事業	735	811	76	10.4%
営業利益	15,448	5,123	-10,324	-66.8%
経常利益	15,572	5,275	-10,296	-66.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,332	3,355	-6,977	-67.5%

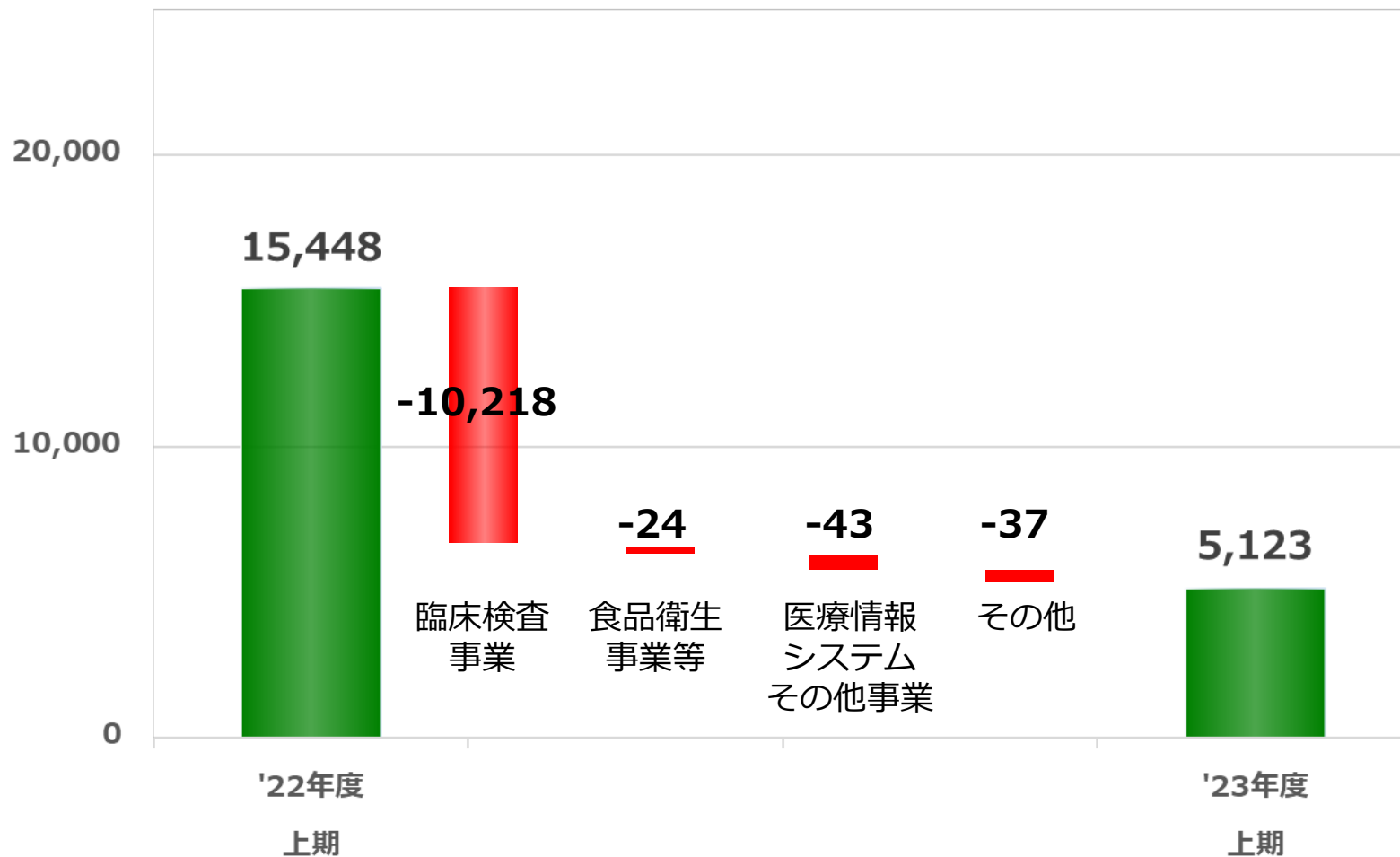
売上高 前期比 136億2百万円 (16.2%) 減収



事業別営業利益増減の内訳

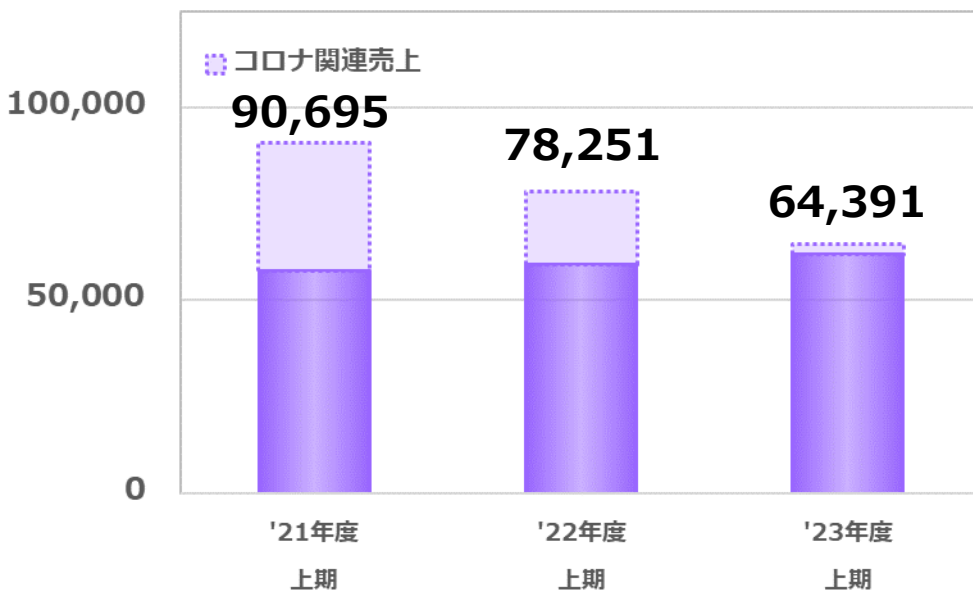
営業利益 前期比 103億24百万円 (66.8%) 減益

(百万円)



売上高 643億91百万円
 前期比 138億59百万円 (17.7%) 減収

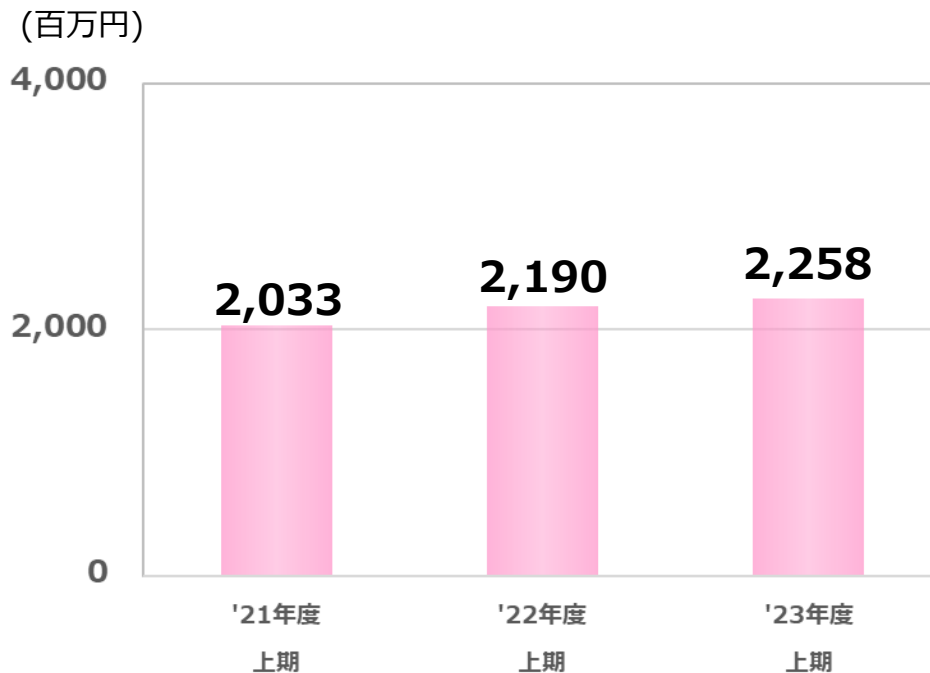
(百万円)



主なトピック

- ✓ 新型コロナウイルス関連
 - ・ PCR 検査
実施件数 -86.6%
 - ・ 「5類感染症」に変更 ('23年5月)
- ✓ 新規獲得・既存検査
 - ・ 順調に推移
 - ・ 前期コロナ第7波の反動
- ✓ 価格変動
 - ・ -0.25%の下落 (コロナ関連検査除く)

売上高 22億58百万円
前期比 68百万円 (3.1%) 増収

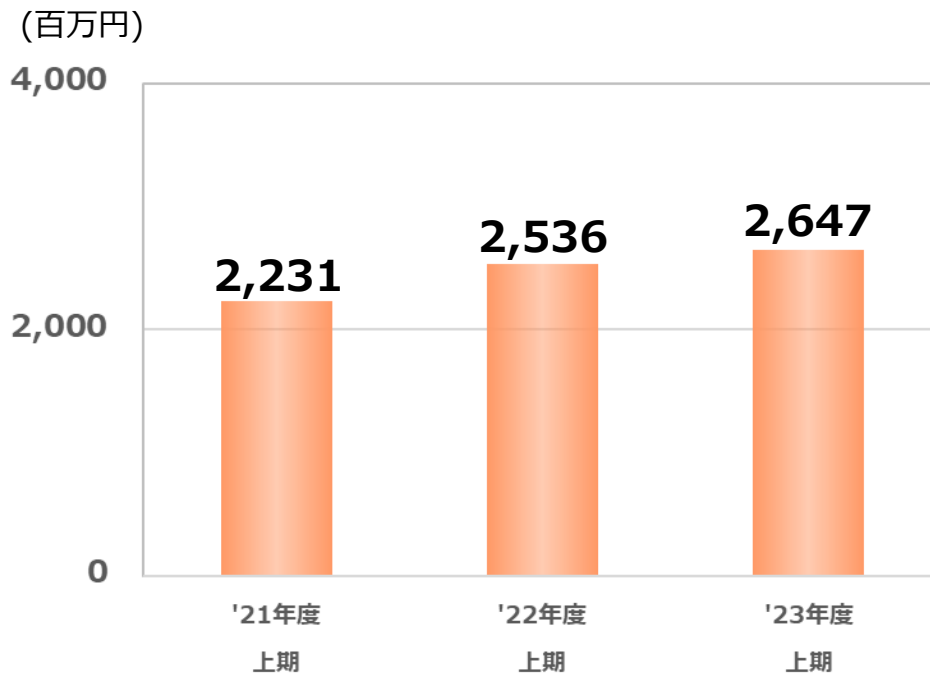


主なトピック

- ✓ コンサルティング事業
 - ・ 社会経済活動の正常化により
コロナ禍前の水準近くまで回復

医療情報システム事業(電子カルテ)の概要

売上高 26億47百万円
前期比 1億11百万円 (4.4%) 増収

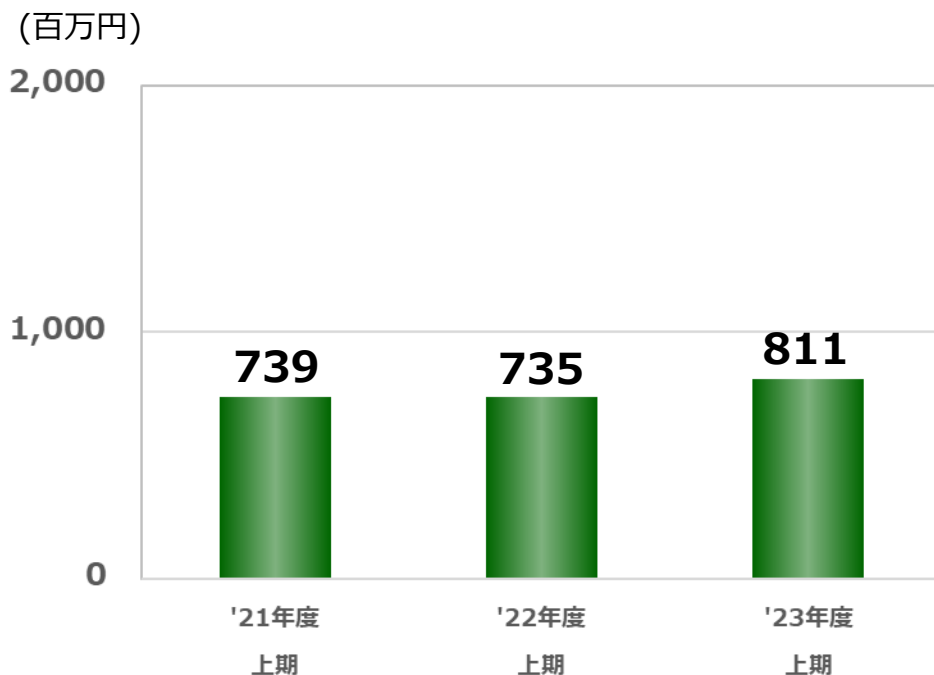


主なトピック

- ✓ 増設
 - ・ オンライン資格確認の機器増設が好調に推移
- ✓ 保守
 - ・ 設置施設数の増加に伴い堅調に推移
- ✓ Qualis Cloud新規販売の一時停止

その他事業の概要

売上高 8億11百万円
前期比 76百万円 (10.4%) 増収

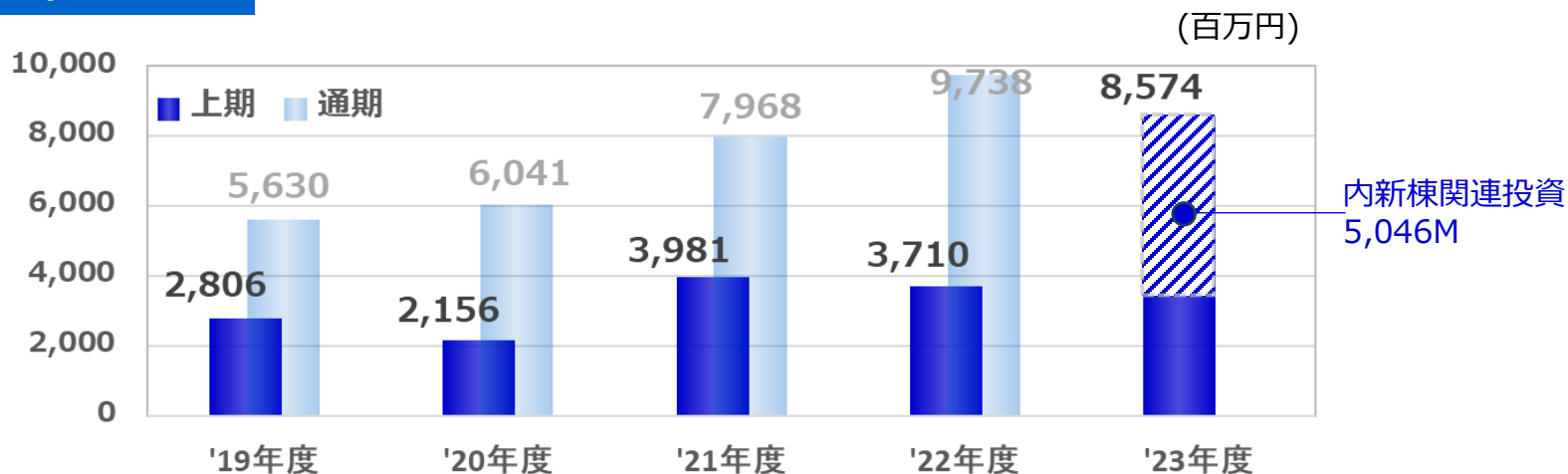


主なトピック

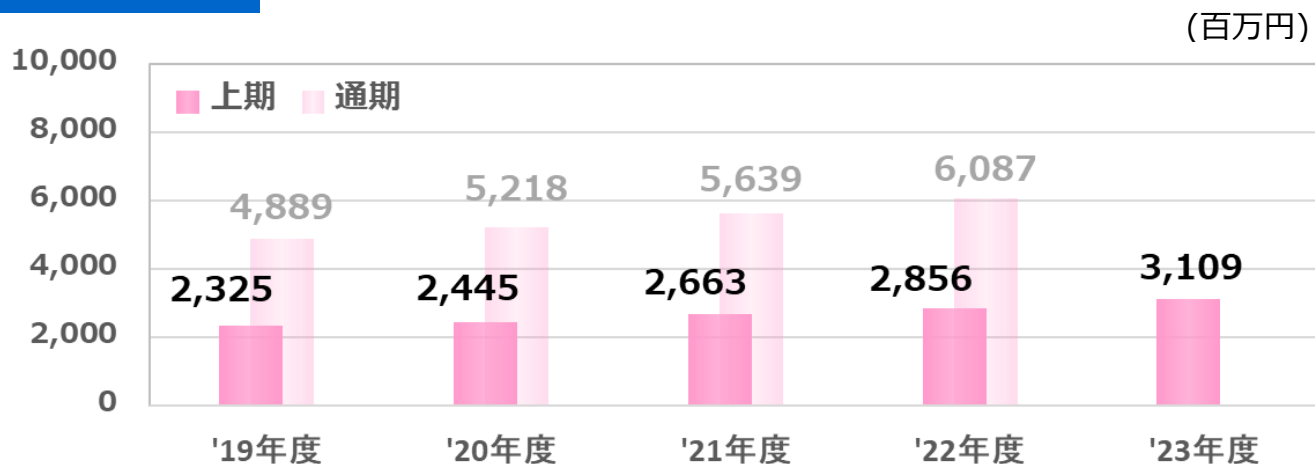
- ✓ 調剤薬局事業
 - ・ 薬価引下げ
 - ・ 新型コロナウイルス治療薬の処方箋枚数が増加
- ✓ 治験実施医療機関支援(SMO)業務
 - ・ 睡眠障害の大型案件への対応
 - ・ 症例獲得数が増加

設備投資額・減価償却費の概要

設備投資



減価償却費



キャッシュフローの概要

(百万円)

	'22年度 上期	'23年度 上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,431	10,994	4,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,144	-9,334	-6,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	-4,302	-3,356	946
現金および現金同等物の期末残高	87,343	81,064	-6,279

主な増減 の内容

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 : -10,558
 法人税等の支払額 : +11,732
 法人税等の還付金 : +1,976

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 : -5,860
 無形固定資産の取得による支出 : +53

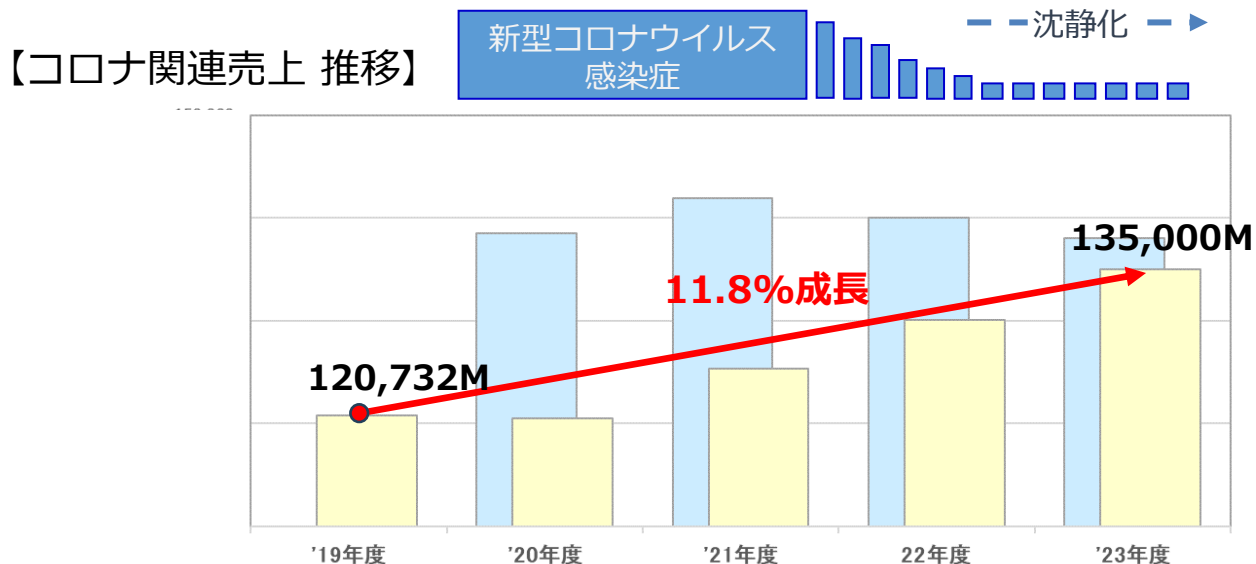
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額 : +1,052



中期経営計画の進捗

■ 第8次中期経営計画における売上高目標



■ 23年度上期の売上高実績

	'19年度上期	'23年度上期	成長率
売上高	61,908	70,109	13.2%
臨床検査	56,638	64,391	13.7%
その他*	5,270	5,718	8.5%

(百万円)

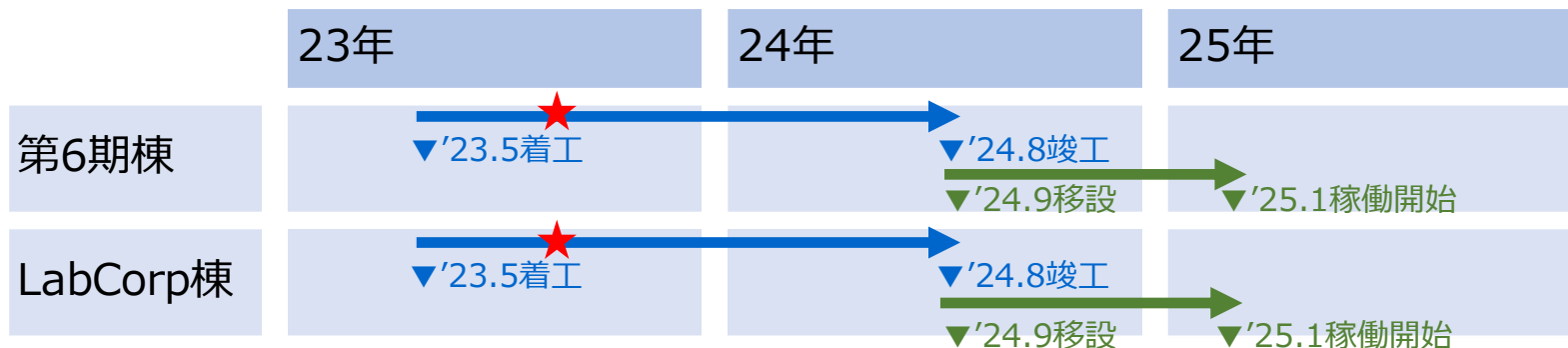
*電子カルテ・食品衛生等



新棟建設の進捗

- ① BML総合研究所 (第6期棟・LabCorp棟)
- ② BMLフードサイエンス
- ③ PCLジャパン

① BML総合研究所 (第6期棟・Lab Corp棟)



■ 竣工予定 : 2024年8月

- スケジュール通り進捗
- 追加コストの発生見込なし (154億円)
- 次世代検査機器への投資については第9次中期経営計画で発表予定

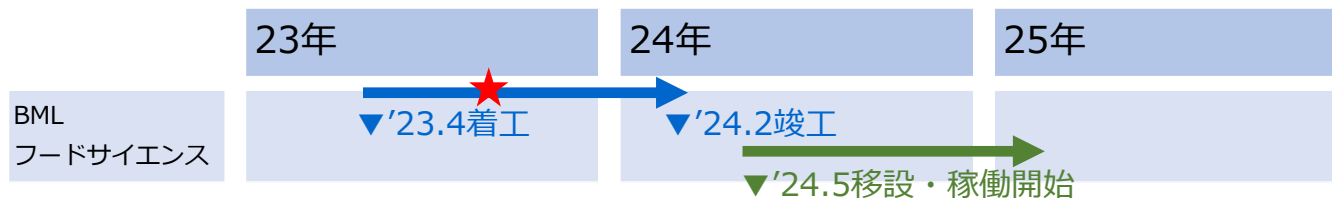
<第6期棟>



<LabCorp棟>



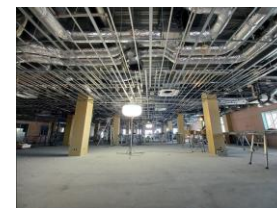
② 食品衛生：BMLフードサイエンス



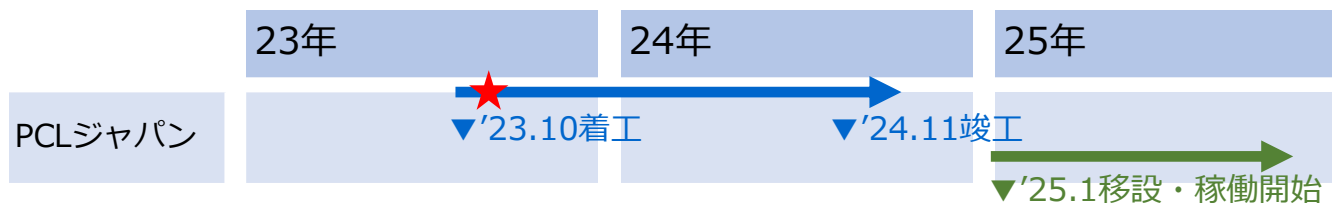
■ 竣工予定：2024年2月

- スケジュール通り進捗
- 追加コストの発生見込なし (18億円)

< BMLフードサイエンス >



③ 病理細胞診：PCLジャパン



■ 竣工予定：2024年11月

- スケジュール通り進捗
- 追加コストの発生見込なし (49億円)

< PCLジャパン >

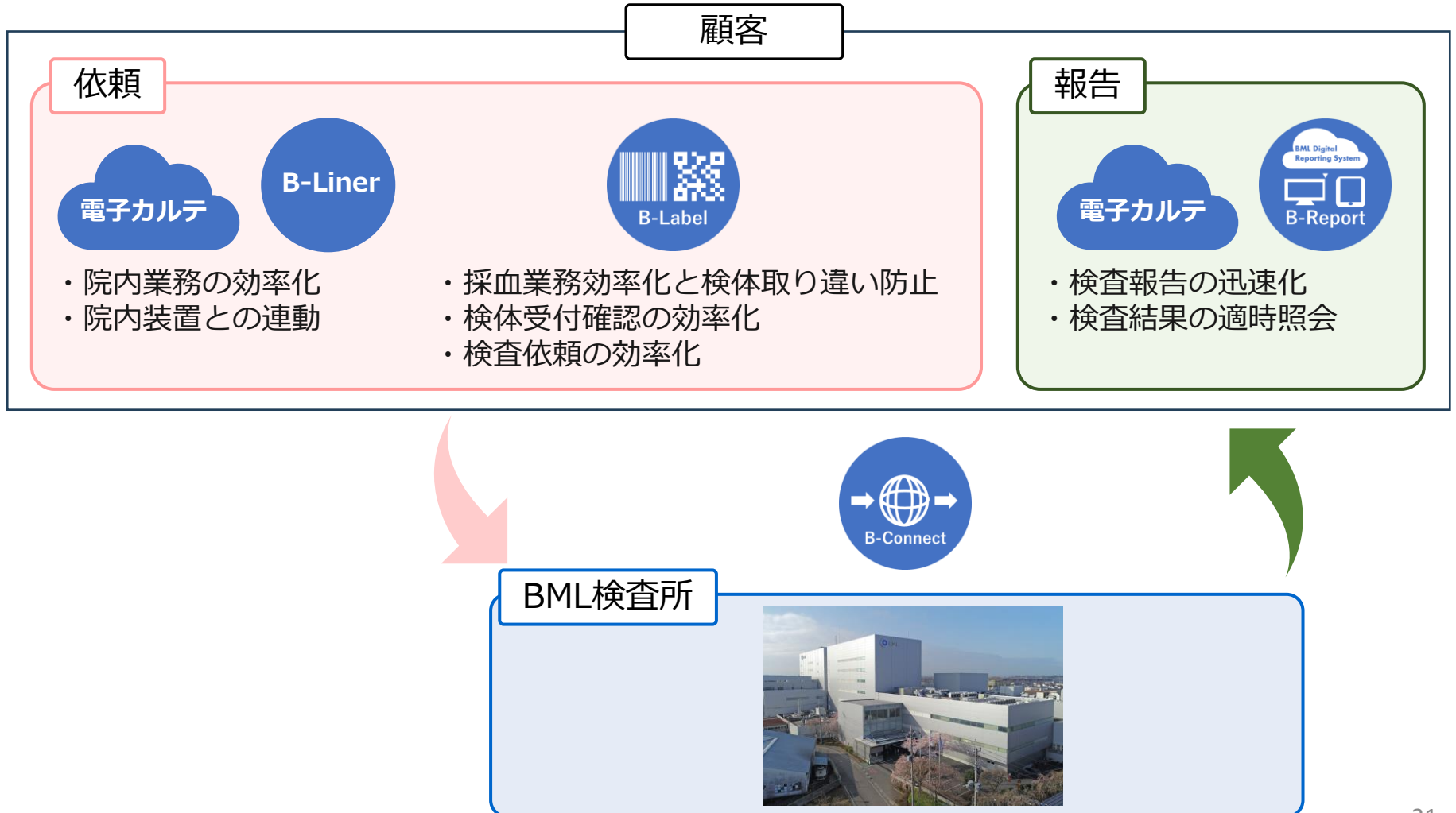




DXへの取り組み

- ① BMLのDXについて
- ② 導入実績
- ③ 効果
- ④ デジタル人財の育成

- BMLのDXについて
→ 「顧客体験価値向上」 + 「業務効率化実現」



① 導入実績

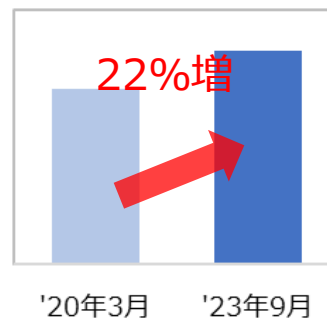
■ 設置施設数

DRS

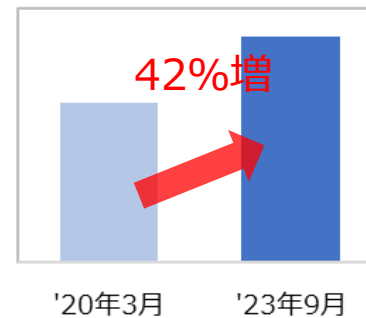
B-Label



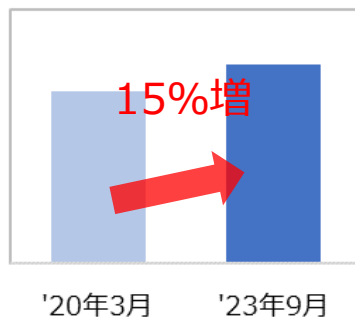
B-Connect



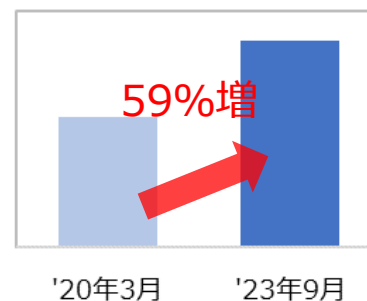
B-Report



電子カルテ



B-Liner

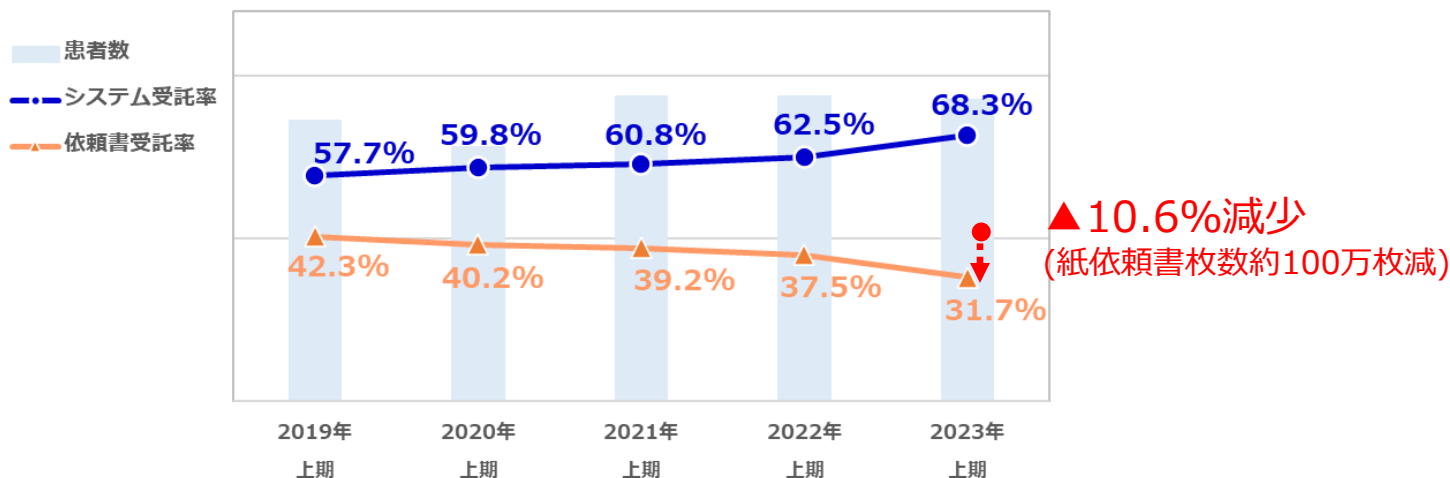


② 効果

■ B-Labelの検体数と削減効果時間および削減効果金額

	'22年度 上期	'23年度 上期
B-Label検体数	223万本	408万本
削減効果時間	14,900時間	26,100時間
削減効果額	18百万円	31百万円

■ 紙依頼受託率とシステム受託率の推移



→ DRS効果により、紙依頼受託は効率性の高いシステム受託に置き換わっている

③ デジタル人財の育成

■ 研修の充実

→ e-ラーニング・各種教育プログラム研修を実施

■ 資格取得を支援

→ ITパスポート (2028年度目標 1,200名)

→ 情報処理安全確保支援士

→ データサイエンティスト 等

< デジタル人財育成計画 >

	強化内容	目指すべき資格
DX専門人財	選抜したデジタル人財を 重点的にDX専門スキルの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報処理安全確保支援士 ● ネットワークスペシャリスト ● データベーススペシャリスト
DX企画人財	デジタル技術やデータ活用に関 する知識を保有し、 業務に活用する幅広いスキル・知見の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● システムアーキテクト ● データサイエンティスト ● 応用情報技術者
DX活用人財	e-ラーニング等を使用した学習で 全社的なDXの理解とITリテラシーの強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本情報技術者 ● 情報セキュリティマネジメント ● ITパスポート 等



リキッドバイオプシー検査の 受託開始

■ ガードントヘルスジャパン株式会社と代理店契約



項目	検査内容	対象施設
Guardant Shield [®]	早期大腸がんを高感度に検出するスクリーニング検査	健診施設 人間ドック施設
Guardant360 [®] LDT	進行固形がんを対象とするがん遺伝子パネル検査	主に医療機関
Guardant Reveal [®]	大腸がん・肺がん・乳がんの再発リスク・術後MRD*の検出	主に医療機関

*微小残存病変

→ 血液中のわずかながん細胞に生じている遺伝子変異を高感度に検出し、
早期発見に貢献



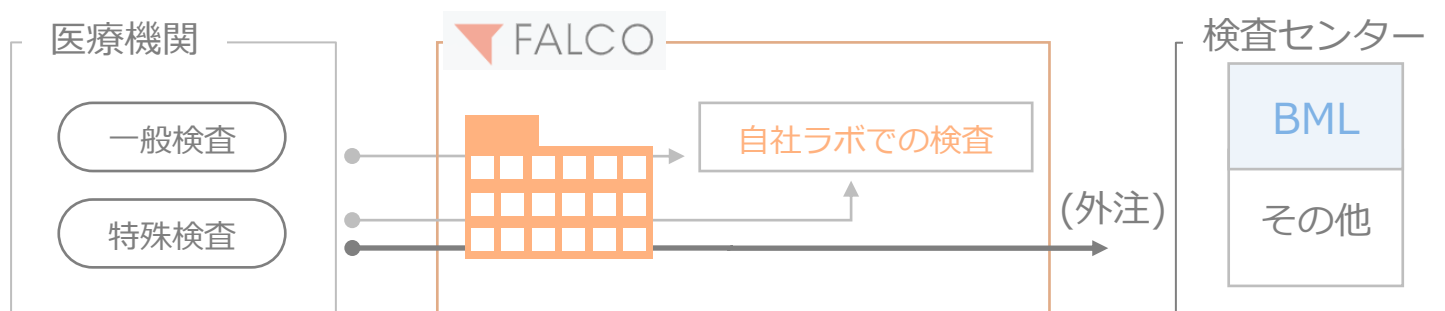
ファルコホールディングスとの 資本・業務提携

- ① 特殊検査外注のシフト
- ② 今後の計画

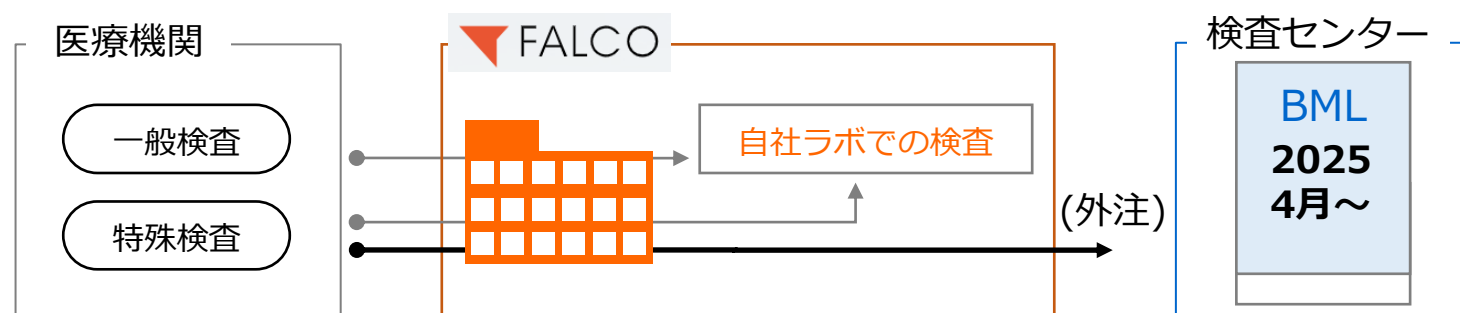
① 特殊検査分野での検査相互補完

■ ファルコバイオシステムズ (FBS) による特殊検査の外注分をBMLへ移行

< これまで >



< 2025年4月以降 >

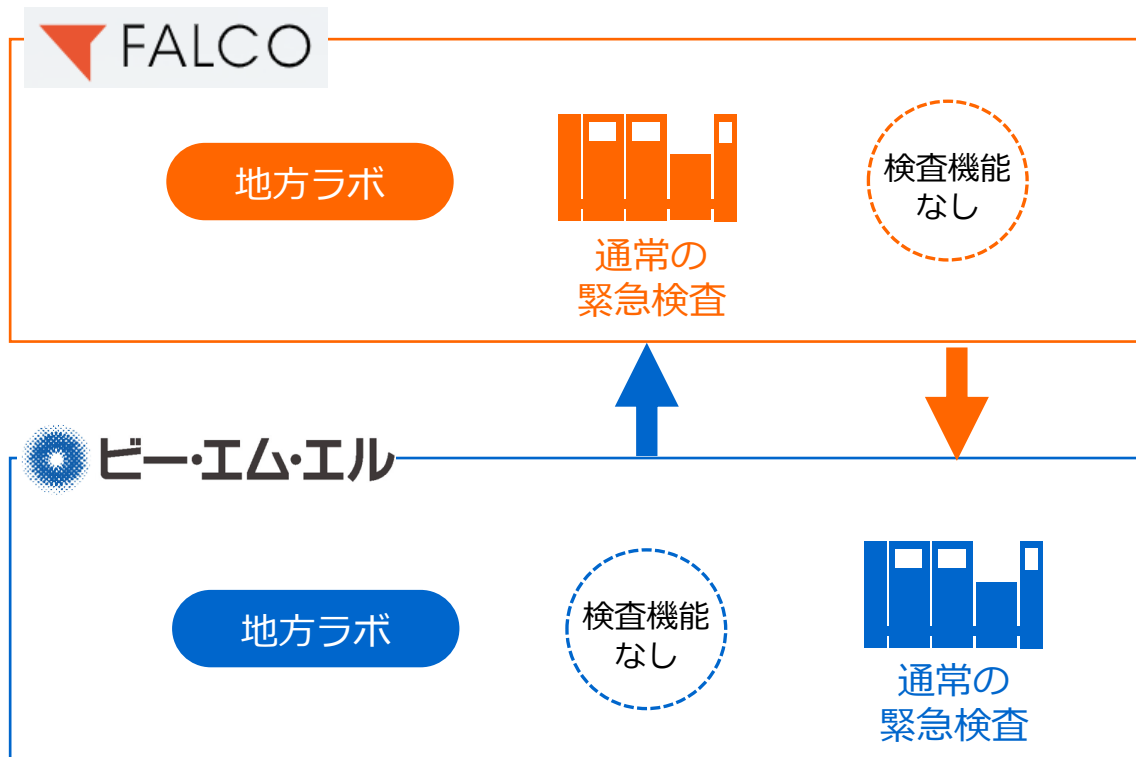


→ 2023年7月より、段階的に移行開始

→ 2025年4月完了予定

② 今後の計画

■ 地域的な検査機能の相互補完



→ 相互補完地域については継続的に検討

→ 2024年より、一部地域で一般検査の検体を受託開始予定

② 今後の計画


■ ICT商品の販売

< 概要 >

- 診療所向けクラウド型レセプト総合支援サービス



- ✓ 対象 : 診療所
- ✓ 機能 : レセプト情報を基にした適正な診療・医事業務の支援機能

→ 2023年度下期より、ファルコホールディングスグループのICT商品である
レセプト業務支援システム「」をBMLの顧客へ販売開始予定

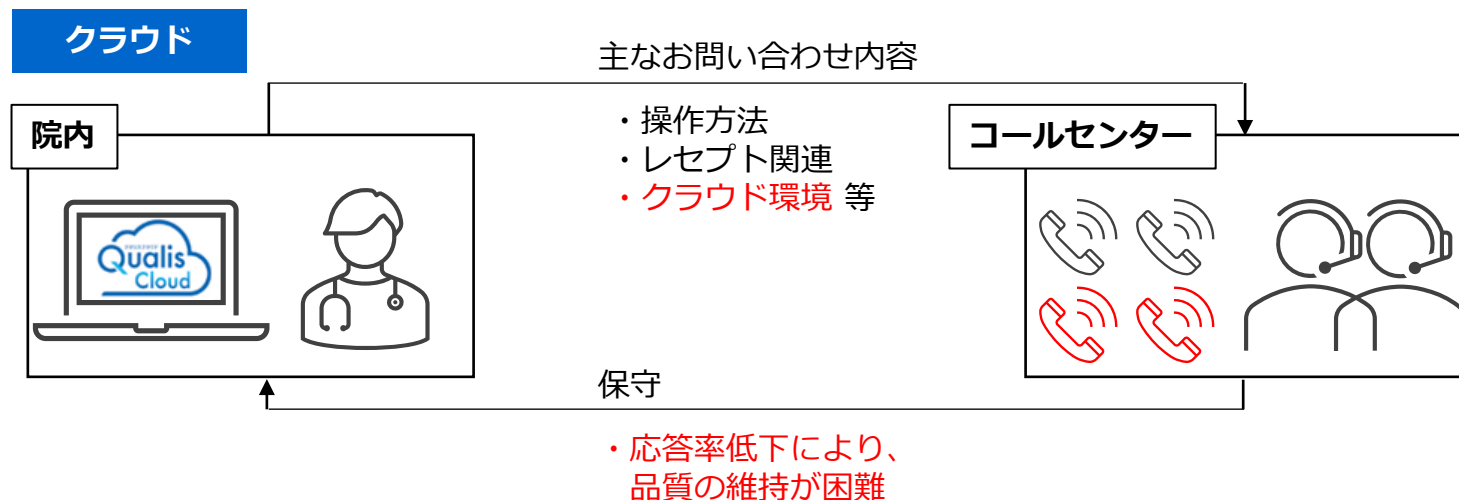


BML

Qualis Cloud新規販売の一時停止

Qualis Cloud新規販売の一時停止

- サービスレベル(サポートセンター・クラウド環境等)を維持するためにリソースの増強が必要となったためQualis Cloudの新規販売を一時停止



- クラウド製品特有のお問い合わせが増加したためコールセンターの応答率が低下
- 顧客施設のクラウド環境整備へのサポート依頼が増加したため保守対応が逼迫

- 対策
 - コールセンターのオペレーターを50%増員
 - 保守要員を50%増員
- 2024年8月頃に販売再開見込



BML

2023年度通期の見通し 株主還元

2023年度通期の見通し

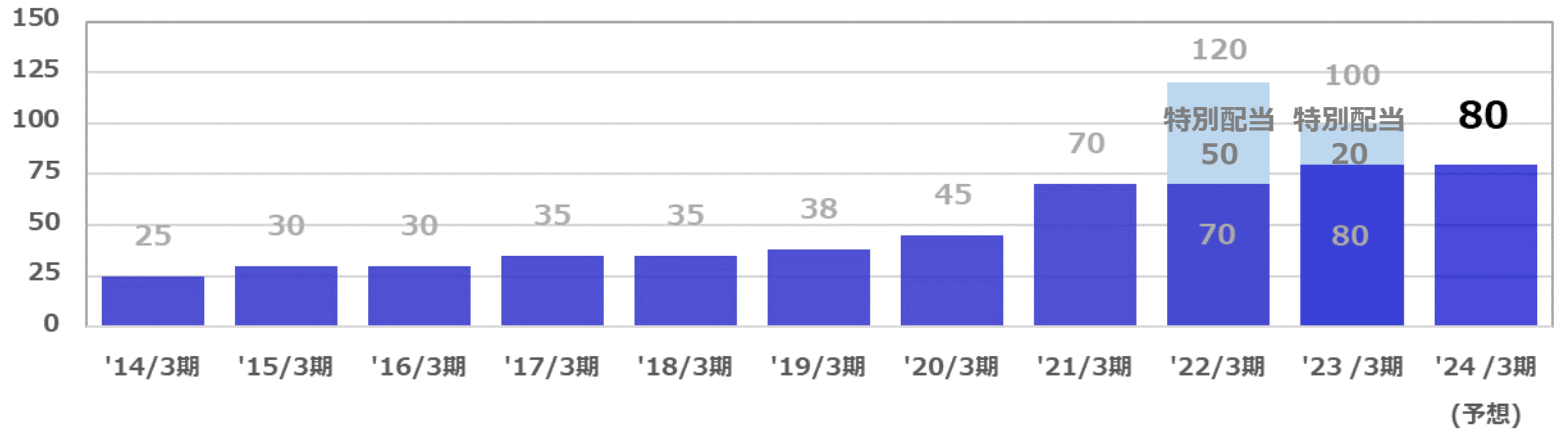
	'22年度	'23年度	増減額	増減率
売上高	159,462	135,000	-24,462	-15.3%
検査事業	152,525	128,700	-23,825	-15.6%
臨床検査	147,731	123,800	-23,931	-16.2%
食品衛生	4,793	4,900	107	2.2%
医療情報システム	5,420	4,800	-620	-11.4%
その他事業	1,516	1,500	-16	-1.1%
営業利益	23,936	11,500	-12,436	-52.0%
経常利益	24,182	11,800	-12,382	-51.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	15,578	7,600	-7,978	-51.2%

(百万円)

配当金

◆ 配当金の推移

(円)



(注) '16年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割をしています。

(注) '16年以前は分割後の金額で表示をしています。

(注) '24年3月期は年間80円を予定しています。

Appendix

社会貢献

- 川越市への寄附活動に対し、紺綬褒章を受章



- 寄附金を活用した救急車の購入





医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす

Customer Satisfaction

(顧客満足)

Synergy

(相乗効果)

Social Responsibility

(社会的責任)



< 将来に関する記述等についてのご注意 >

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。